

映像文化創造都市やまがた



Yamagata Creative Tourism

やまがたクリエイティブ・ツーリズム

1-14 Oct, 2017

山形市の“文化”を楽しむミニガイド

山形国際ドキュメンタリー映画祭 2017 開催記念号

1. 山形国際ドキュメンタリー映画祭(YIDFF)2017 攻略ガイド
2. 例えばこんな YIDFF
3. 山形市の文化・体験イベント情報
4. 山形市創造都市推進協議会からのお知らせ
5. Creative Tourism (裏面/日・英)

山形国際ドキュメンタリー映画祭 (YIDFF) 2017 攻略ガイド

YIDFF とは？

- ☞ 1989 年、山形市制 100 周年記念事業としてスタート。以後奇数年の 10 月 3 連休を挟んだ 1 週間開催。2007 年に実行委員会が NPO 化後は、山形市の共催事業として開催
- ☞ アジア初の国際ドキュメンタリー映画祭
- ☞ 国内外から 100 人以上の映画監督がゲストとして来形
- ☞ コンペ作品の他に特集上映など、多岐に渡るプログラムが魅力
- ☞ 巨匠、新進気鋭の監督、地元の観客、国内の熱烈な映画ファン、ボランティア、スタッフの垣根のないアットホームさと山形市民のホスピタリティが好評

映画祭を楽しむために

- 中央公民館（AZ）ホール、市民会館、フォーラム、山形美術館など会場は市内に点在し、それぞれキャパが違います（50 人～1000 人）。混み合うのは、7 日（土）午後から 9 日（月／祝）にかけて！先着順での入場なので、客席数の少ない会場は要注意。座席数が多く、かつ世界中から厳選されたインターナショナル・コンペティションの作品が上映される「中央公民館ホール」「市民会館大ホール」がねらい目です！
- ID カード（ゲストパス、関係者パス）をつけている人たちがゲスト！
- 尺の長いドキュメンタリー映画を上映している印象が強いですが、短編映画や劇映画、アニメーションなどもあります。
- 無料で参加できる上映やイベントも多数！
- 最新情報は、ホームページか中央公民館前のスケジュール看板で確認！
- 映画を見なくても香味庵（6—11 日 22～2 時）での「飲みニケーション」で、映画監督や映画関係者と交流できます。

30代♂・平日は仕事
夜のみ参加の場合

例えばこんな YIDFF

(プログラム/会場) ☆ゲストトーク、質疑応答あり ○無料

5日(木) 開会式で気分盛り上げ!	17:15 開会式 AZ6階○ 飯森さんの指揮で山形交響楽団の演奏! 19:00 オープニング上映☆○ 昨年逝去された実験映像の巨匠、松本俊夫監督作品。フィルム3面マルチ上映は必見!
6日(金) コンペとアジアをチェック!	17:30 『願いと揺らぎ』(コンペ/AZ6階) ☆被災後の南三陸町。仙台短編映画祭スタッフでもある、山形でも応援したい映像作家の作品 20:50 『パムソム海賊団、ソウルインフェルノ』(アジア/フォーラム) ☆韓国社会を若い世代の視点で考えてみる
7日(土) がつり特集 プログラムDAY	10:30 『パシフィックーあるいは満ち足りた人々 バランス、ジュルバン』(ムーラー/市民会館小) スイスの映像作家、フレディー・ムーラーの1965年の作品 13:00 『モガディシュの兵士』(アフリカ/美術館) ☆ソマリアのテロとの戦いの現場とは? アフリカを知る。 15:00 [途中参加] ディスカッション『阿賀に生きる』とヤマガタ○(山形/KUGURU) コアなYIDFF関係者と映像作家佐藤真を語る。 16:25 『赤軍—P.F.L.P.世界戦争宣言』(パレスティナ/市民会館小) ☆ゲストトークが熱いはず。 19:20 『騒乱のレバノン』(レバノン/市民会館小) 長時間はお尻が痛くなるので市民会館小ホールは座布団持参がおすすめ 22:00 軽くご飯を食べてから香味庵で情報交換!
8日(日) 話題の長編に挑戦	10:00 『ニッポン国 VS 泉南石綿村』(コンペ/AZ6階) ☆質疑応答にも期待したい、215分。 15:20 『航跡(スービック海軍基地)』(コンペ/AZ6階) ☆2011年の前作も印象深い、フィリピン・ルソン島の旧米海軍基地周辺。 21:00 『アフリカナイト!』(別プログラム/サンディニスタ) アフリカ音楽のDJライブ。YIDFFチケット持参で2,000円。
9日(月/祝) 日本のドキュメンタリー	10:00 『小国春熊猟2016』(震災/美術館) ☆山形の小国のマタギの話かな? 13:30 『世界一と言われた映画館』(山形/美術館) ○☆酒田・グリーンハウスに関するインタビュー。関係者のトークも楽しみ。 16:00 『選挙に出たい』(日本/フォーラム) ☆翌日は衆議院選挙告示日。 19:10 『風のたより』(アジア/フォーラム) ☆YIDFFともなじみの監督が撮る311後。
10日(火)	19:00 『スタートライン』(ネットワーク/フォーラム) ☆聴覚障害のある監督のツーリングロードムービー。
11日(水)	17:00 表彰式 18:00 クロージング上映 『表現に力ありや』○
12日(木)	受賞作品の一挙上映!(プログラムは表彰式後に公表)

YIDFF 関連イベントはまだ続きます

12～13日 山形市創造都市推進協議会『やまがた創造都市国際会議 2017』

12日は18:30よりブエノスアイレスの音楽♪ バンドネオンの無料ライブ(清風荘)も開催。詳しくは一番右の中段下に掲載しています。

3連休を利用して、一通り映画祭の全特集を体験するプログラム(有料12本+無料5本)を選んでみました。市役所や市内プレイガイドなどでスケジュールチラシは入手可能ですが、9月18日版の最新スケジュールチラシが発行されています(邦題が変更された作品もあり)。その他、直前の追加情報や質疑応答の変更などもあるので、YIDFFホームページなどで最新情報の入手をお勧めします。

そのほかの注目作品

【世界の〈今〉を観るーインターナショナル・コンペティションより】

『オラとニコテムの家』(ポーランド/72分)

酒飲みの父親と自閉症の弟の面倒をみる少女オラ。子どもの視点からの大人と現実の世界がどのように描かれているかが気になる。

『ドンキー・ホーテ』(スペイン、ドイツ、イギリス/86分)

73歳のマヌエルが、ロバとともにスペインからアメリカへ2200キロ踏破する。まったり、ほっこり癒されそうな作品。

『エクス・リブリスーニューヨーク公共図書館』(アメリカ/205分)

ドキュメンタリー映画界の巨匠、フレデリック・ワイズマンの新作。図書館の課題や人間模様。

『私はあなたのニグロではない』(アメリカ、フランス、ベルギー、スイス/93分)

アフリカ系アメリカ人の激動の現代史。世界の映画祭でも話題になっている作品。

『激情の時』(ブラジル/127分)

ブラジルの巨匠、ジョアン・モレイラ・サレス作品。1966、1968年のアーカイブ映像を紡ぎだす。個人的には6日10時の質疑応答の回にいけないのが残念!

【アジア千波万波ーアジアと映像の今!】

毎回個性的で勢いのある楽しいアジアプログラム。こちらも見たい作品がたくさんありますが、2005年にも来形した監督の、視覚・聴覚障害のある子どもたちの日常を作品にした『カーロ・ミオ・ベン』、西ティモールの『ノカス』、レバノンの『そこにとどまる人びと』、音楽ドキュメンタリー『あまねき調べ』など気になっています。

【アジア千波万波特別企画】

ティーザーポスターや先付、Tシャツなど映画祭グッズでもおなじみの、フィリピン出身のアニメーター/パフォーマー/映像作家のロックス・リー。市民会館小ホールでの上映、パフォーマンスのほか、旧西村写真館では作品展示もあります。

そのほか、みなさんの興味関心にあった一本をどうぞ発見してみてください。

10月1—14日 山形市の文化イベント情報

※詳しい情報は、会場に直接お問い合わせ下さい

■最上義光歴史館 常設展示「山形城～絵図と発掘資料から～」

9月13日(水)～平成30年1月21日(日) 9:00～17:00 (入館16:30迄)
無料/問:023-625-7101

■山形まなび館 やまがたこけしと木のおもちゃ

9月14日(木)～10月9日(月) 9:00～17:00 無料
ワークショップ等あり(材料代実費)/問:023-623-2285

■山形県芸文美術館 「岩合光昭の世界ネコ歩き」

9月15日(金)～10月18日(水)木曜休 10:00～17:00
800円 小中生300円/問:023-642-7955(山形新聞社 森田)

お知らせ 山形県芸文美術館が移転リニューアルオープンしました！
YIDFF主会場のAZの2階が地元芸術団体の運営によるギャラリーになりました。

■山形まるごと館 紅の蔵 街なか情報館「懐かし*昭和期の映画ポスター展」

10月3日(火)～10月30日(月) 10:00～18:00 無料/問:023-679-5101

■山形美術館

YIDFFの会場にもなっている山形美術館は、特にフランス近代絵画の常設展示が充実。
YIDFF期間は、ミロ・シャガールの収蔵版画展を開催。

10:00～17:00(入館16:30迄)500円、高大生300円、小中生100円
問:023-622-3090

■山形県立博物館 プライム企画展「GAGAKUーやまがたに息づく宮廷文化」

9月23日(土)～12月3日(日)10/10休 9:00～16:30(入館16:00迄)
300円 学生150円 問:023-645-1111

映画イベント

■楠木元監督来場 ミニライブ付 映画「はるねこ」山形上映会/10月8日(日)

洗心庵多目的ホール/14:00/18:00 2回上映/料金1,500円
問:023-634-0011(にじゆめプロジェクト)

■山形民俗映像フォーラム 王祇祭(黒川能)1954年・2006年

10月9日(月・祝)10:00～11:50/山形美術館2階/無料/大学共同利用機関法人国立歴史民俗博物館・山形文化遺産活用事業実行委員会
問:023-628-4930(山形大学附属博物館)

その他のイベント

- 昴21弦楽四重奏団～山形公演／10月6日（金）19：00／洗心庵／3,000円
問：090-8782-0891（佐藤）
- 桜庭一樹×辻村深月 創作の裏側／10月7日（土）15時～17時（開場 14時30分）
遊学館2階ホール／（一般）2,000円、（高校生以下）1,000円
問：023-625-6411
- 国際シンポジウム「大学と美術の可能性を求めて」
10月14日（土）13:30～16:30／山形大学小白川キャンパス／無料／
大学における「アート・リソース」の活用に関する総合的研究
問：023-628-4930（山形大学附属博物館）
- 【文翔館の日】10月14日（土）
10：00～13：00 14：00～16：00 人力車体験
13：30～講演会、19：00～ナイトミュージアム
問：023-635-5500

山形市のイベント

- 第10回山形市民スポーツフェスタ／10月8日（日）8:30～
※プログラムごとに開始時間が異なります 無料
山形市総合スポーツセンター
問：023-625-2288（山形スポーツフェスタ実行委員会）
- 街なか賑わいフェスティバル2017／10月14日（土）10：00～17：00
歩行者天国イベント等／問：023-631-0831（山形市都市振興公社）

朝市情報

山形まなび館(前庭) 10月5日、12日（毎週金曜）10：00～12：00

山形まるごと市より

蔵王温泉朝市会場 6：00～8：00

蔵王温泉高湯通り（こけしの能登屋・山口餅屋 駐車場）
10月1（日）・8（日）・15（日）・22（日）

山寺会場 10：00～15：00

山寺宝珠橋公園 10月1（日）・7（土）・8（日）・9（月）・14（土）
15（日）21（土）・22（日）・28（土）・29（日）

山形市創造都市推進協議会からのお知らせ

YIDFF2017 『やまがたと映画』短編映画上映

10月10日（火）山形美術館 入場無料

13:50~15:19 映像文化創造都市やまがたを目指して 1

『HARD BOILED CITY YAMAGATA』

制作：東北芸術工科大学/2016/20分

『映像と向き合う生き方～卒業生が触れる芸
工大の今～』 監督：伊藤憲吾/2017/39分

ゲスト：林海象教授、加藤到教授、
東北芸術工科大学学生



19:10~19:57 映像文化創造都市やまがたを目指して 2

『山形鋳物～暮らしのデザインを求めて～』

監督:渡辺智史/2016/24分

『山形打刃物～生活の中の道具～』

監督:佐藤広一/2016/22分

ゲスト：佐藤広一監督

岡部信幸山形美術館副館長



上映後、山形鋳物で沸かしたお抹茶を飲みながらのゲストトークがあります。
（無料／協力：裏千家）

おまけ情報

10月6日（金） 豊烈神社例大祭 山形豊烈打毬（古式打毬）

YIDFF 山形事務局の斜め向かいにある「豊烈神社(ほうれつじんじゃ)」の祭礼は、旧山形市では最後に行われる祭で、神社に伝わる山形豊烈打毬(だきゅう)は、今や全国でも3か所しか伝承されていない打毬の一つです(他、宮内庁、八戸市の長者山新羅神社)。乗馬クラブなどで訓練された約20名の会員が、伝統文化を継承しています。打毬の他、神輿、奉納剣道大会なども行われます。お楽しみの屋台出店もあります。YIDFF 期間中に、山形市に残る”祭”体験はいかがでしょう？

豊烈神社（山形市桜町7-47） AZ、山形駅より徒歩10分

やまがた創造都市国際会議 2017（入場無料）

12日（木）

15:00-18:00 シンポジウム「クリエイティブ・ツーリズム 文化資産の活用」

イタリア・フィリピン・日本の映像関係者を招き、映像が都市や市民をどのように活性化させてきたのか、具体的取組みの報告と、映像の可能性を話し合います。

- ・アンドレア・メネゲッリ（イタリア／ボローニャ市チネテカアーカイブ責任者）
 - ・テディ・コー（フィリピン／映像研究者、アーキビスト）
 - ・葉山 茂（大学共同利用機関法人人間文化機構、国立歴史民俗博物館）
- 会場：山形大学小白川キャンパス基盤教育2号館211教室

18:30-19:00 エキシビション「創造都市ブエノスアイレスの音楽」

- ・トミ・レブレロ（アルゼンチン／バンドネオン奏者）

会場：清風荘（ライブは無料。18:30まで希望により立礼席呈茶あり 500円）

13日（金）

13:00-14:30 分科会「モノ語る人びとー津波被災地・気仙沼から」葉山 茂

15:00-16:30 分科会「映画製作プロセスを活用した地域活性化」渡邊 竜一

（株）フィディア総合研究所理事、（株）アジアメディアプロモーション代表）

会場：山形大学小白川キャンパス基盤教育1号館134教室

問：023-628-4930（山形大学）

映像文化創造都市やまがたに向けて

映像文化創造都市の活動は、山形国際ドキュメンタリー映画祭2013年の閉会式で「創造都市を目指します」と宣言されたことから具現化し、2015年には山形市創造都市推進協議会を設立しました。山形市は2015年に続き、今年2017年もユネスコ創造都市ネットワーク映画部門での加盟の申請を行っています。

山形市は映画館、国際映画祭、市民団体の上映会、映画製作活動と美術系の高等教育など、映画環境に恵まれた市です。加えて、複数の美術館、プロオーケストラ、山形ピエンナーレ、市内から巣立つ小説家など、文化資産をたくさん有しています。この冊子は、一人でも多くの方がYIDFFに参加するきっかけを作るため、また映画に限らない山形市の文化資産を再認識、共有することを目的に作成しました。

【編集後記】

個人の趣向、映画の好みも様々。皆様に印象深い作品や出会いがあること、そして山形で思い出深い文化体験をされることを、一同願っております。（小林）

問合せ：文化振興課 ☎ 023-641-1212 内線 638

✉ creative-yamagata@city.yamagata-yamagata.lg.jp

最新情報は、映像文化創造都市やまがた Facebook またはHPにて！

2017年10月3日発行（文化振興課内：杉本、山川、愛甲、小林）